



一流を目指す富士中学校

学校だより



学校 HP 日々更新中

令和6年度
6月号
校長 佐藤 勝俊
教育目標
『志に燃える』
越谷市立富士中学校

相手（仲間）を思いやる心で「いじめ」ゼロに

校長 佐藤勝俊

『相手の気持ちやその場の状況を考え、優しい言葉遣いができていますか』

令和5年度埼玉県学力・学習状況調査、質問紙調査にあった項目です。「よくできる・だいたいできる」と回答した割合は、現3年生が93%、現2年生が92%で、県全体と比べても高いレベルでした。とてもうれしく感じています。また、下校時に私が「気を付けて帰ってね。」と声をかけると「ありがとうございます。」と返してくれたり、廊下ですれ違っても、気持ちの良いあいさつを交わしてくれたり、日々生徒の皆さんの丁寧な言葉遣いに感謝しています。

ただし、この結果に残念ながらつながっていないのが本校の「いじめ」です。昨年度においても「キモイ、消えろ、うざい、死ね」などの悪口を言われる、スマートフォンでのSNS上で誹謗中傷を書き込まれるなどの「精神的な苦痛をとまなういじめ」が発生しています。

『「いじめ」は許されない行為である』ことは小学生の頃から承知しているはずですが、ダメなのはダメなのです。そして「学校生活を共に過ごす一人一人が大切な仲間であり、仲間を大切にすることが自分を大切にすることにつながる」ことも理解しているはず。仲間を大切にして行動することの尊さは、先月の体育祭でも皆さん一人一人が感じとれたことでしょう。つまり、「いじめ」ゼロにする力＝相手を思いやり行動する力は本校にあるのです。

相手（仲間）を思いやる心で「いじめ」ゼロに みんなの力で実現しましょう。

誰かの「ひとこと」で、急にしあわせな気分になる時がある。

誰かの「ひとこと」で、完全に人生が変わる人もいる。

誰かの「ひとこと」を支えに、一生を生きていく人もいる。

ヒトツヒトツ ノ コトバ ニ アイ ラ。

すごく難しいけれど、

それが一番シンプルで、一番大きな優しさの表現方法かもしれない。



作家 高橋歩さんの言葉です。（「人生を変える言葉 2000」から引用）

一流を目指す富士中学校、今月も皆さんの活躍を心から期待しています。